

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	独立行政法人交通安全環境研究所 運営費交付金(審査勘定)		担当部局庁	自動車局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年～		担当課室	技術政策課		課長 和迩 健二		
会計区分	自動車安全特別会計 (自動車検査登録勘定)		施策名	5(18) 自動車の安全性を高める				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	交通安全環境研究所に自動車等の審査及びリコールに係る技術的検証を行わせるための業務の運営に必要な経費。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	道路運送車両法第75条の4の規定に基づく自動車及びその装置の型式指定の際に、交通安全環境研究所に保安基準に適合するかどうかの審査を行わせている。また、同法の自動車のリコール制度において、同研究所に改善措置の内容が適切であるかどうかの技術的な検証を行わせている。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	862	822	822	821		
	執行額	862	822	822				
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	自動車及び装置の審査	成果実績	件	7,482	3,752	4,803	-	
		達成度	%	-	-	-		
	リコールに係る技術的検証	成果実績	件	447	532	554	-	
		達成度	%	-	-	-		
	不具合情報の分析	成果実績	件	4,353	3,754	3,802	4,000	
		達成度	%	145	125	95		
	車両不具合に起因した事故車両等の現車調査	成果実績	件	37	24	40	-	
		達成度	%	370	240	400		
	実証実験	成果実績	テーマ	13	10	10	-	
		達成度	%	130	100	100		

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	自動車及び装置の審査	件	7,482	3,752 —	4,803 —	—
	リコールに係る技術的検証	件	447	532 —	554 —	—
	不具合情報の分析	件	4,353	3,754 (3,000)	3,802 (3,000)	4,000
	車両不具合に起因した事故車両等の現車調査	件	37	24 (10)	40 (10)	—
	実証実験	テーマ	13	10 (10)	10 (10)	—
単位当たりコスト	運営費交付金のため対象外	算出根拠	運営費交付金のため対象外			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由		
	独立行政法人交通安全環境研究所審査勘定運営費交付金	821				
	計	821				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・道路運送車両法に規定されている自動車等の審査及びリコールに係る技術的検証を交通安全環境研究所に行わせるために必要な経費であり、優先度が高く、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・運営費交付金はすべて交通安全環境研究所において使用されており、費目・使途も必要なものに限定されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・国が実施すべき事業を担う独法の運営に必要な経費を交付するものであり、交付金以外の手段はない。 ・道路運送車両法に基づく自動車の審査業務、自動車のリコールに係る技術的検証業務が確実に実施されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	道路運送車両法の規定に基づき、自動車の審査業務、自動車のリコールに係る技術的検証業務を実施する我が国唯一の機関であり、業務の重複はなく、自動車の審査業務、国からの依頼による自動車のリコールに係る技術的検証業務が確実に実施されている。業務経費について、審査の効率化及び審査内容の重点化により対前年度比で4.9%程度抑制され、また、一般管理費について、経費節減に取り組んだ結果、8.8%程度抑制されており、効率的な運営がなされている。また、契約監視委員会を設置し、契約状況の点検・見直しを行う等の取組を行ってきており、引き続き、適切な予算執行の確保を図ることとしている。
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	325	平成23年行政事業レビュー	0303

国土交通省
822百万円

〔国の行政に必要な自動車等の型式指定
審査業務、リコールに係る技術的検証業
務等を交通安全環境研究所に行わせる。〕



A. (独)交通安全環境研究
所

〔自動車等の型式指定審査業務、リコー
ルに係る技術的検証業務等の実施。〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					